

itsmoSaver

携帯電話を効果的に管理 気付きのサイクルで私的利用減少

企業にとって、携帯電話の管理はやっかいなものだ。利用者が普段持ち歩く携帯電話は一括管理がしにくく、実際の通話内容も本人任せだからだ。そうした課題を解決するのがNECモバイリングの「itsmoSaver」。このシステムを導入すれば、「携帯電話の“適正利用”を推進できる」という。

いつでもどこでも使える携帯電話は、もはや企業活動に必要不可欠なツールとなった。反面、携帯電話の運用・管理という課題に企業の総務部門は直面している。

社員が普段から持ち歩く携帯電話は管理が困難である。ある飲料メーカーでは、多数のカード型のデータ通信端末が机の中にしまわれたまま、毎月の基本料だけを支払い続けていたそうだ。

また、他者の目に届きにくい携帯電話は、私的通話や有料サイトの閲覧などに利用されやすいという特性をもつ。

こうした携帯電話を適切に運用し、煩雑な管理負担を軽減できないか。NECモバイリングの「itsmoSaver(イツモ・セイバー)」はそうした問題意識から開発された。

システムの開発に携わったNECモバイリングの永盛陸夫統括マネージャーは、「itsmoSaverは携帯電話の“適正利用”を推進するための仕組みです」と語る。中核となるシステムだ



itsmoSaverの開発を担当したNECモバイリングの永盛陸夫統括マネージャー(左)、加藤正人グループマネージャー



itsmoSaverでは、社内の携帯電話利用動向を分析できる

だけでなく、コンサルティングや社内運用ルール策定といったさまざまなノウハウを同時に提供することで、企業に新たな「ケータイ文化」を根付かせたいという思いが込められているという。

容易に導入できるシステム

itsmoSaverは、企業の携帯電話運用支援、利用動向把握のためのASPサービスだ。システムのほとんどをアウトソーシングするASP方式で提供することから、新たな設備投資を必要とせず、容易に導入できるメリットがある。PCと通信回線があればすぐに利用できる。NTTドコモを中心とした携帯電話に利用でき、料金は1回線当たり月額210円。導入企業ごとに必要となるカスタマイズについては、原則無料で対応している。

利用フローを見てみよう。NTTドコモなど通信キャリアからの請求費用・通話明細をNECモバイリングが活用し、それぞれのデータが登録・集計・統計される。このデータは、システム管理者用の「itsmoSaver

ACCESS System」と一般社員用の「itsmoSaver Web System」に反映される。

NECモバイリングの加藤正人グループマネージャーは、「携帯電話の利用情報という個人情報を取り扱うため、専用データセンターでは機密漏洩対策に万全を期しています」と説明する。データのメンテナンスや集計・統計業務は、専任オペレーターが担当し、入室・退室管理等の厳格な社内ルールに基づいて運用されている。

itsmoSaver ACCESS Systemは、データセンター側のサーバーと導入企業側のクライアントソフトが対になって構成され、月1回CSV形式のマスターデータがダウンロードされる仕組みだ。

itsmoSaver Web Systemでは、一般社員には自分の端末、部門長には自部門のというように、各々のユーザー権限に応じたIDが付与され、各種管理と統計情報を閲覧できる。ペリサイン認証とSSL暗号化通信により、安全にデータがやり取りされる。

多彩な管理機能

itsmoSaverの主要な機能としては、集計管理、通知管理、統計管理、問い合わせ管理、棚卸し管理があげられる。

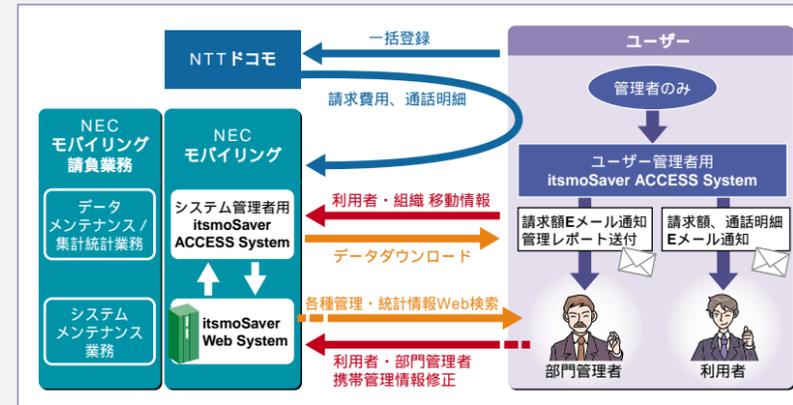
の集計管理機能では、請求金額と明細を、ユーザー企業の組織形態に合わせた形で表示・出力できる。全体、部門、個人と組織レイヤに応じて情報を一元管理でき、CSVやExcel形式で出力できるため、グラフや表へ簡単に加工できる。

の通知管理はユニークな機能だ。個人別の請求額明細をEメールで送信するもので、送信先は自由に設定できる。全員に毎月送れば、各々の利用者が現状を認識することで「ムダを省く」という自己抑制が働く。こうした「気付きのサイクル」を狙っているという。

もちろん、高額請求者のみに送信したり、私的利用の可能性のある有料サイトの利用があった場合には、上司に調査依頼メールを送信することができる。携帯電話メールへの送信も可能だ。

の統計管理では、全社、組織別、電話番号別に請求金額の推移を確認

図 itsmoSaverのシステム概要



認できる。企業における携帯電話の利用頻度は、業態や季節やキャンペーンの実施に応じ短・中期トレンドで変動する。最適な料金プランを選ぶためには、端末ごとのトレンドを把握する必要が出てくる。itsmoSaverでは、最大24カ月の利用動向を一覧・グラフ表示できる。

の問い合わせ管理機能では、高額利用者や有料サイトの利用者を検索できる。通話・パケットごとに利用料を閲覧することもできる。さらに1回の通話あたりの料金が低い利用者も調べられるため、例えば盗難に会い勝手に利用されているといった異常事態を検知できる。電話番号ごとの有料サイト利用状況を把握すれば、私的利用を抑制できるという。

の棚卸管理では、3カ月間未使用の端末を一覧表示できる。加藤グループマネージャーは、「使われずに忘れられている端末はどの企業でも2%前後あります。この契約を見直すことによりコスト効果が得られます」という。

itsmoSaverの導入効果は明確だ。冒頭に述べた飲料メーカーでは、itsmoSaverの「棚卸管理機能」の活用により、約100台の使用されていな



社員にはEメールで利用明細が送られる。端末がみつかり、これを解約することで年間400万円の適正化が図れた。大手電機メーカーでは、契約プランの適正化を図ることで、年間4500万円を効率化した。また別のIT企業では、私用通話や無駄な通話が抑制され、年間3600万円を最適化(削減)できたという。

単なる経費削減システムでない

開発者の永盛統括部長は、「itsmoSaverは、単なる経費削減のためのシステムではありません」と力説する。コスト削減のみを狙うのであれば、厳格な利用制限を課するといった手法もある。しかしそれでは、「携帯電話で業務プロセスを高度化させよう」という本来の使い方を阻害してしまう。このため、itsmoSaverの提案では、社員1人ひとりを啓発し、自己管理能力を高めるというスタンスを取っている。これにより、携帯電話利用のモラルやマナーを向上させれば、企業全体の文化・風土を変革できる可能性すら秘めているというのだ。

お問い合わせ先
NECモバイリング株式会社
販売事業本部
広域営業ブロック営業部
〒222-8520 横浜市港北区新横浜2-4-18
NEC新横浜第二ビル
TEL : 045-476-2532
FAX : 045-476-2393
E-mail : itsmosaver@mobiling.nec.co.jp